

# 平成 27 年 国 勢 調 査

## <就業状態等基本集計結果(大阪市)>



平成 29 年 6 月  
大阪市都市計画局

## 平成 27 年国勢調査＜就業状態等基本集計結果（大阪市）＞

平成 27 年 10 月 1 日現在で実施した、平成 27 年国勢調査の就業状態等基本集計結果が、このたび総務省統計局から公表されましたので、大阪市分の概要をお知らせします。

### 目 次

1	労働力状態	1
2	従業上の地位	5
3	産業・職業	9
4	夫婦の労働力状態	16

#### 就業状態等基本集計とは

就業状態等基本集計は、全ての調査票を用いて市区町村別の人口の労働力状態、夫婦、子供のいる世帯等の産業・職業大分類別構成に関する結果について集計したものです。

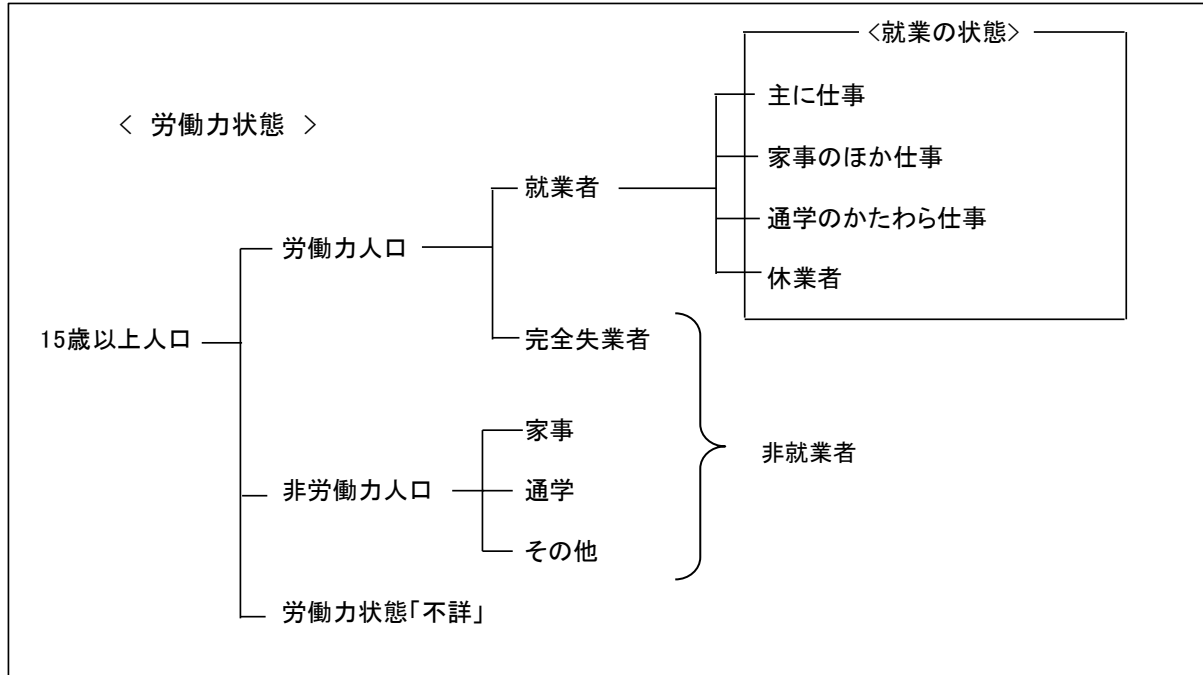
詳細な結果は、総務省統計局ホームページ「統計表一覧」をご覧ください。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm>

## 用語の解説

### 労働力状態

「労働力状態」とは、15歳以上の人について、調査年の9月24日から30日までの1週間（以下「調査週間」という。）に「仕事をしたかどうかの別」により、次のとおり区分したものです。



### 労働力率

15歳以上人口（労働力状態「不詳」を除く。）に占める労働力人口の割合をいいます。

### 従業上の地位

就業者について、調査期間中にその人が事業を営んでいるか、雇用されているかなどによって区分したものをいいます。

### 産業・職業

「産業」とは、就業者について、調査週間中にその人が実際に仕事をしてきた事業所の主な事業の種類によって分類したものをいいます（調査週間中「仕事を休んでいた人」については、その人がふだん仕事をしている事業所の主な事業の種類）。

「職業」とは、就業者について、調査週間中にその人が実際に従業していた仕事の種類によって分類したものをいいます（調査週間中「仕事を休んでいた人」については、その人がふだん従事していた仕事の種類）。

国勢調査に用いている産業分類・職業分類は、それぞれ日本標準産業分類及び日本標準職業分類を基にしています。

個々の産業分類・職業分類の詳しい定義や内容例示については、下記 URL の『平成 27 年国勢調査に用いる産業分類』及び『平成 27 年国勢調査に用いる職業分類』を参照ください。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/users-g/pdf/sangyo.pdf>

# 1 労働力状態

## 労働力率は引き続き男性で低下、女性で上昇

平成27年における15歳以上人口(235万1496人)の労働力状態を見ると、労働力率(15歳以上人口に占める労働力人口の割合)は61.8%で、平成22年(63.1%)と比べると1.3ポイント低下した。

男女別に労働力率を見ると、男性は72.0%、女性は52.7%となっており、平成22年と比べると、男性が3.1ポイント低下し、女性が0.4ポイント上昇した。

図1-1 労働力人口・労働力率の推移(平成2年~平成27年)

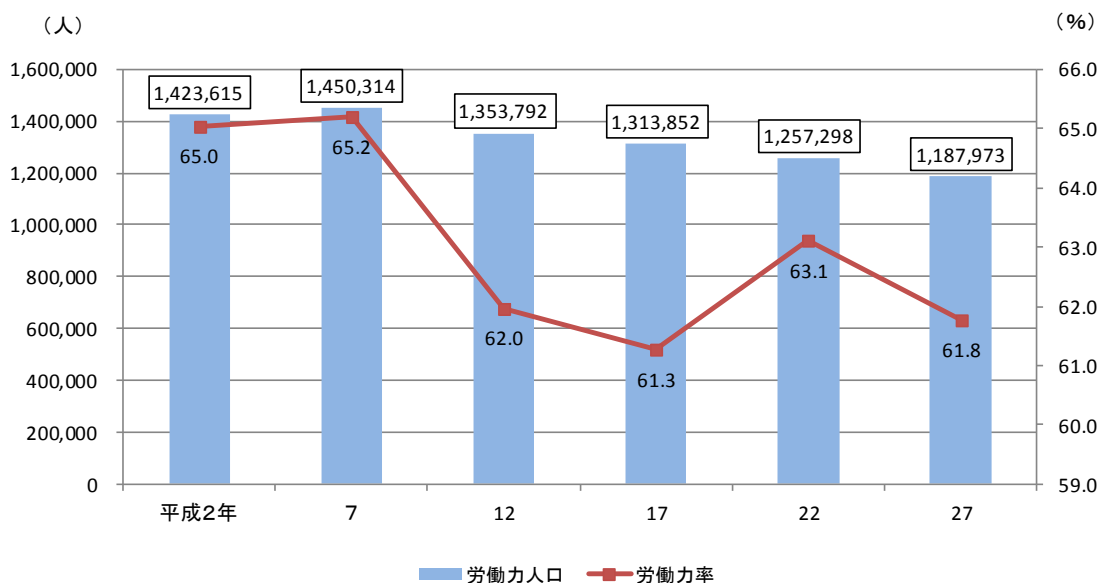


図1-2 労働力人口・非労働力人口の推移(平成2年~平成27年)

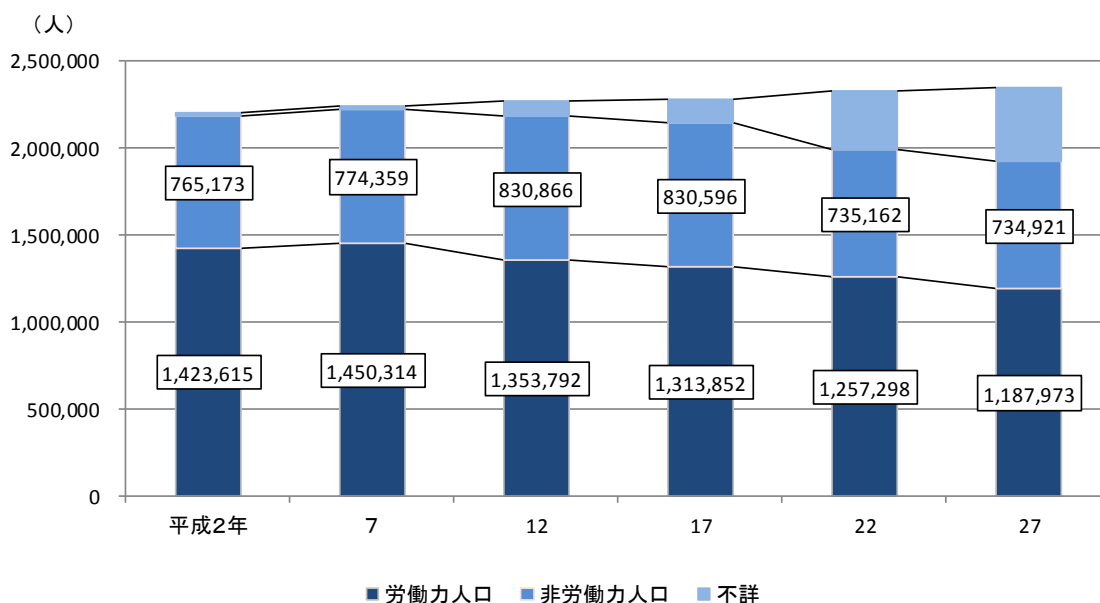


表1-1 労働力状態、男女別15歳以上人口の推移（平成2年～平成27年）

男女、年次	15歳以上人口(人)					労働力率(%) 1)
	総数	労働力人口	就業者	完全失業者	非労働力人口	
総数						
平成2年	2,208,547	1,423,615	1,345,405	78,210	765,173	65.0
7	2,244,627	1,450,314	1,336,176	114,138	774,359	65.2
12	2,267,543	1,353,792	1,231,235	122,557	830,866	62.0
17	2,279,543	1,313,852	1,159,848	154,004	830,596	61.3
22	2,333,267	1,257,298	1,143,389	113,909	735,162	63.1
27	2,351,496	1,187,973	1,120,195	67,778	734,921	61.8
男						
平成2年	1,077,742	871,414	818,019	53,395	194,327	81.8
7	1,094,382	882,461	805,694	76,767	198,873	81.6
12	1,102,705	806,603	725,668	80,935	242,760	76.9
17	1,099,903	763,868	661,724	102,144	252,021	75.2
22	1,122,633	709,418	634,752	74,666	235,666	75.1
27	1,127,261	653,215	610,410	42,805	254,398	72.0
女						
平成2年	1,130,805	552,201	527,386	24,815	570,846	49.2
7	1,150,245	567,853	530,482	37,371	575,486	49.7
12	1,164,838	547,189	505,567	41,622	588,106	48.2
17	1,179,640	549,984	498,124	51,860	578,575	48.7
22	1,210,634	547,880	508,637	39,243	499,496	52.3
27	1,224,235	534,758	509,785	24,973	480,523	52.7

1) 15歳以上人口に占める労働力人口の割合。分母から労働力状態「不詳」を除いて算出している。

表1-2 労働力状態、男女別15歳以上人口の増減数の変化（平成2年～平成27年）

男女、年次	総数	労働力人口			非労働力人口	不詳
		総数	就業者	完全失業者		
総数						
平成2～7	36,080	26,699	△ 9,229	35,928	9,186	195
7～12	22,916	△ 96,522	△ 104,941	8,419	56,507	62,931
12～17	12,000	△ 39,940	△ 71,387	31,447	△ 270	52,210
17～22	53,724	△ 56,554	△ 16,459	△ 40,095	△ 95,434	205,712
22～27年	18,229	△ 69,325	△ 23,194	△ 46,131	△ 241	87,795
男						
平成2～7	16,640	11,047	△ 12,325	23,372	4,546	1,047
7～12	8,323	△ 75,858	△ 80,026	4,168	43,887	40,294
12～17	△ 2,802	△ 42,735	△ 63,944	21,209	9,261	30,672
17～22	22,730	△ 54,450	△ 26,972	△ 27,478	△ 16,355	93,535
22～27年	4,628	△ 56,203	△ 24,342	△ 31,861	18,732	42,099
女						
平成2～7	19,440	15,652	3,096	12,556	4,640	△ 852
7～12	14,593	△ 20,664	△ 24,915	4,251	12,620	22,637
12～17	14,802	2,795	△ 7,443	10,238	△ 9,531	21,538
17～22	30,994	△ 2,104	10,513	△ 12,617	△ 79,079	112,177
22～27年	13,601	△ 13,122	1,148	△ 14,270	△ 18,973	45,696

表1-3 労働力状態、男女別15歳以上人口の増減率の変化（平成2年～平成27年）

男女、年次	総数	労働力人口			非労働力人口	不詳
		総数	就業者	完全失業者		
総数						
平成2～7	1.6	1.9	△ 0.7	45.9	1.2	-
7～12	1.0	△ 6.7	△ 7.9	7.4	7.3	-
12～17	0.5	△ 3.0	△ 5.8	25.7	△ 0.0	-
17～22	2.4	△ 4.3	△ 1.4	△ 26.0	△ 11.5	-
22～27年	0.8	△ 5.5	△ 2.0	△ 40.5	△ 0.0	-
男						
平成2～7	1.5	1.3	△ 1.5	43.8	2.3	-
7～12	0.8	△ 8.6	△ 9.9	5.4	22.1	-
12～17	△ 0.3	△ 5.3	△ 8.8	26.2	3.8	-
17～22	2.1	△ 7.1	△ 4.1	△ 26.9	△ 6.5	-
22～27年	0.4	△ 7.9	△ 3.8	△ 42.7	7.9	-
女						
平成2～7	1.7	2.8	0.6	50.6	0.8	-
7～12	1.3	△ 3.6	△ 4.7	11.4	2.2	-
12～17	1.3	0.5	△ 1.5	24.6	△ 1.6	-
17～22	2.6	△ 0.4	2.1	△ 24.3	△ 13.7	-
22～27年	1.1	△ 2.4	0.2	△ 36.4	△ 3.8	-

## 女性の労働力率は20歳以上の年齢階級で上昇し、M字カーブはより緩やかに

労働力率を男女、年齢（5歳階級）別に見ると、男性は25歳から59歳までの各年齢階級で90%以上となっている。一方、女性は25～29歳と45～49歳を山とし、35～39歳を谷とするM字カーブとなっているものの、山と谷の差は縮小傾向にある。

平成22年と比べると、男性は25歳から59歳までの各年齢階級でやや低下している。一方、女性は20歳以上の各年齢階級で上昇しており、M字カーブの谷は引き続き35～39歳の年齢層となっている。

図1-3 年齢（5歳階級）、男女別労働力率（平成2年、平成22年、平成27年）

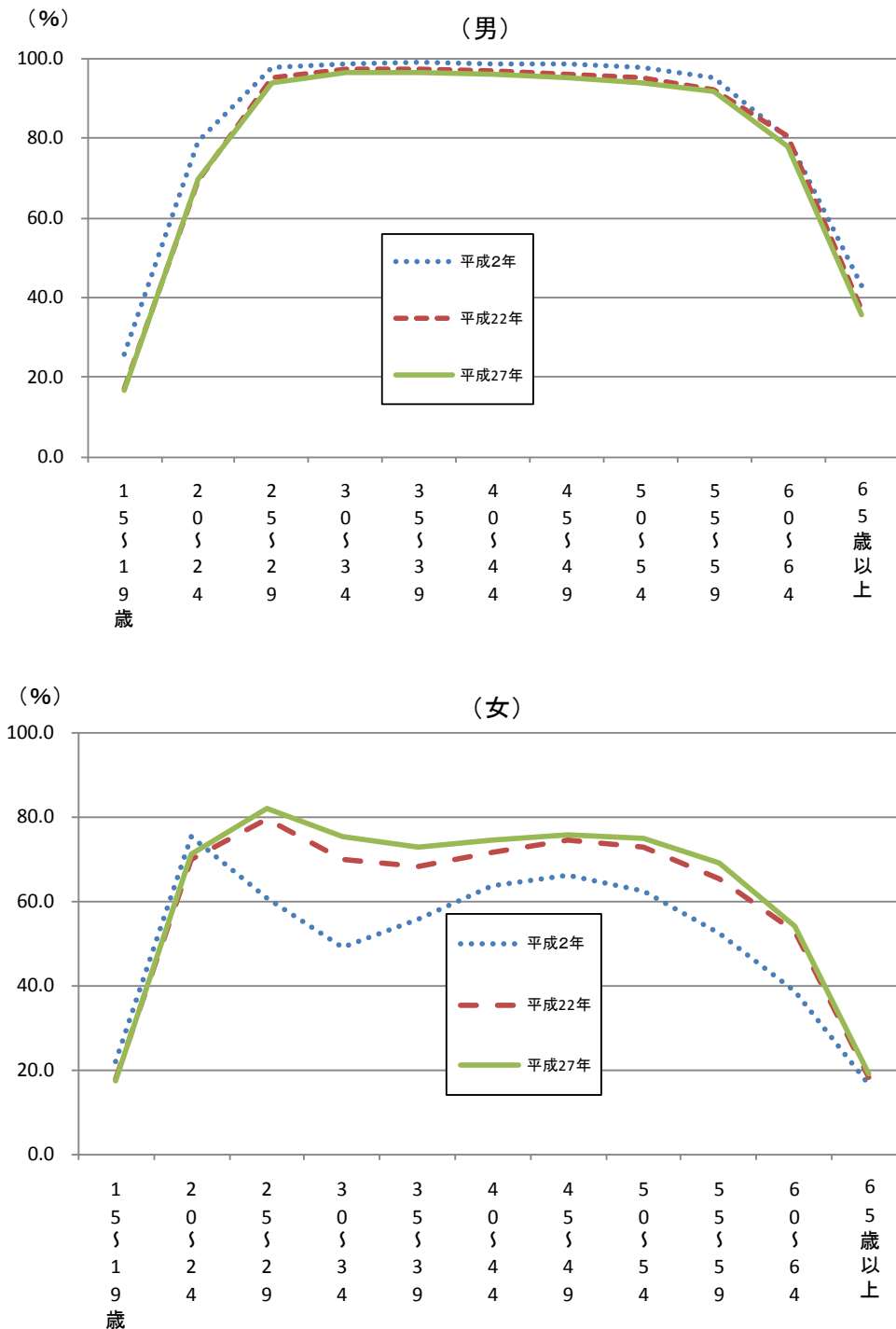


表 1-4 年齢（5 歳階級）、男女別労働力率の推移（平成 2 年～平成 27 年）

男女、年齢	（％）					
	平成 2 年	7 年	12 年	17 年	22 年	27 年
男	81.8	81.6	76.9	75.2	75.1	72.0
15～19歳	25.6	23.6	20.6	21.7	17.1	16.5
20～24	79.2	77.6	72.6	73.0	69.2	69.8
25～29	97.8	97.0	94.7	95.3	95.4	94.0
30～34	98.8	98.5	96.4	97.1	97.3	96.3
35～39	98.9	98.7	96.9	97.4	97.3	96.5
40～44	98.8	98.6	96.7	97.4	96.7	95.8
45～49	98.5	98.3	95.8	97.0	96.2	95.0
50～54	97.6	97.7	94.8	95.6	95.3	93.9
55～59	95.2	95.6	92.0	93.1	92.2	91.7
60～64	80.0	81.4	73.6	74.9	80.5	77.7
65歳以上	42.9	43.6	36.8	33.0	37.1	35.6
女	49.2	49.7	48.2	48.7	52.3	52.7
15～19歳	21.9	19.6	18.6	20.9	17.7	17.2
20～24	75.5	73.7	71.1	71.5	69.9	71.4
25～29	60.7	65.4	67.8	73.0	79.4	82.2
30～34	48.9	53.4	56.3	62.3	69.9	75.3
35～39	55.5	56.6	58.2	62.7	68.1	72.8
40～44	63.5	62.4	64.0	68.5	71.7	74.7
45～49	66.3	65.7	64.9	70.2	74.7	75.9
50～54	62.3	64.6	64.5	66.4	72.6	74.8
55～59	52.6	57.2	58.4	61.0	65.5	68.9
60～64	38.5	40.4	41.3	43.7	52.9	54.0
65歳以上	16.4	16.6	15.1	14.4	18.3	19.1

## 2 従業上の地位

就業者数に占める雇用の割合は、男女ともに15歳から39歳までの各年齢階級で9割超

15歳以上就業者数(112万195人)を従業上の地位別に見ると、「雇員」(役員を含む)が87.9%、「自営業主」(「家庭内職者」を含む)が9.6%、「家族従業者」が2.6%となっている。

また男女、年齢階級別に見ると、男性は年齢階級が低いほど雇員の割合が高く、15歳から39歳までの各年齢階級で90%を上回っている。女性も男性と同様に年齢階級が低いほど雇員の割合が高い傾向があり、15歳から49歳までの各年齢階級で90%を上回っている。

図2-1 従業上の地位別15歳以上就業者数の推移(平成2年~平成27年)

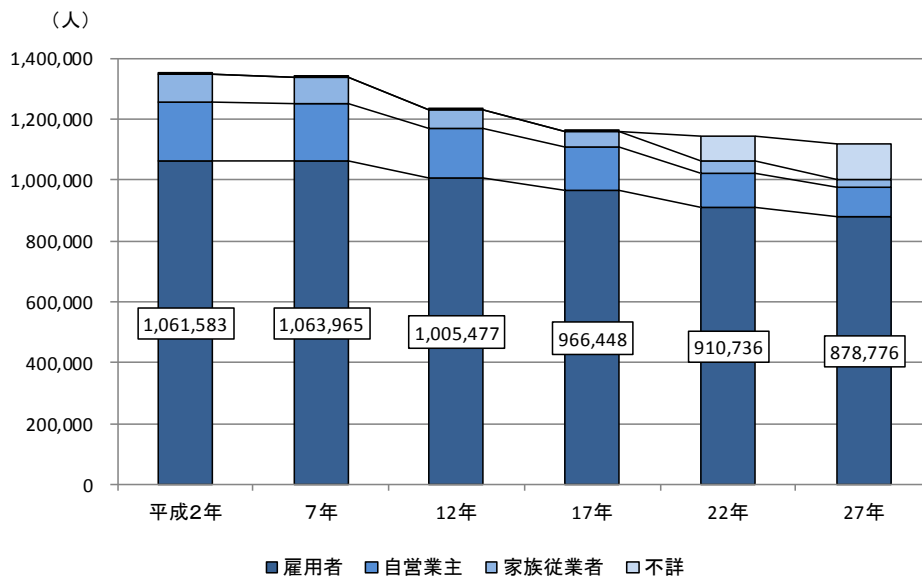


表2-1 従業上の地位、男女別15歳以上就業者数の推移(平成2年~平成27年)

男女、年次	就業者数(人)					増減率(%)					構成比(%) <sup>4)</sup>				
	総数 1)	雇員 2)	自営業主 3)	家族従業者	不詳	総数 1)	雇員 2)	自営業主 3)	家族従業者	不詳	総数	雇員 2)	自営業主 3)	家族従業者	不詳
総数															
平成2年	1,345,405	1,061,583	194,156	89,589	77	2.7	6.1	△ 7.0	△ 11.1	-	100.0	78.9	14.4	6.7	-
7年	1,336,176	1,063,965	188,823	83,202	186	△ 0.7	0.2	△ 2.7	△ 7.1	-	100.0	79.6	14.1	6.2	-
12年	1,231,235	1,005,477	162,948	62,732	78	△ 7.9	△ 5.5	△ 13.7	△ 24.6	-	100.0	81.7	13.2	5.1	-
17年	1,159,848	966,448	141,433	51,754	213	△ 5.8	△ 3.9	△ 13.2	△ 17.5	-	100.0	83.3	12.2	4.5	-
22年	1,143,389	910,736	113,009	36,436	83,208	△ 1.4	△ 5.8	△ 20.1	△ 29.6	-	100.0	85.9	10.7	3.4	-
27年	1,120,195	878,776	95,888	25,586	119,945	△ 2.0	△ 3.5	△ 15.2	△ 29.8	-	100.0	87.9	9.6	2.6	-
男															
平成2年	818,019	658,089	144,723	15,186	21	1.8	4.3	△ 7.6	△ 6.1	-	100.0	80.5	17.7	1.9	-
7年	805,694	646,672	144,645	14,314	63	△ 1.5	△ 1.7	△ 0.1	△ 5.7	-	100.0	80.3	18.0	1.8	-
12年	725,668	591,059	123,595	10,982	32	△ 9.9	△ 8.6	△ 14.6	△ 23.3	-	100.0	81.5	17.0	1.5	-
17年	661,724	543,691	108,003	9,932	98	△ 8.8	△ 8.0	△ 12.6	△ 9.6	-	100.0	82.2	16.3	1.5	-
22年	634,752	495,542	85,147	7,183	46,880	△ 4.1	△ 8.9	△ 21.2	△ 27.7	-	100.0	84.3	14.5	1.2	-
27年	610,410	463,964	70,928	4,937	70,581	△ 3.8	△ 6.4	△ 16.7	△ 31.3	-	100.0	85.9	13.1	0.9	-
女															
平成2年	527,386	403,494	49,433	74,403	56	4.0	9.0	△ 5.1	△ 12.1	-	100.0	76.5	9.4	14.1	-
7年	530,482	417,293	44,178	68,888	123	0.6	3.4	△ 10.6	△ 7.4	-	100.0	78.7	8.3	13.0	-
12年	505,567	414,418	39,353	51,750	46	△ 4.7	△ 0.7	△ 10.9	△ 24.9	-	100.0	82.0	7.8	10.2	-
17年	498,124	422,757	33,430	41,822	115	△ 1.5	2.0	△ 15.1	△ 19.2	-	100.0	84.9	6.7	8.4	-
22年	508,637	415,194	27,862	29,253	36,328	2.1	△ 1.8	△ 16.7	△ 30.1	-	100.0	87.9	5.9	6.2	-
27年	509,785	414,812	24,960	20,649	49,364	0.2	△ 0.1	△ 10.4	△ 29.4	-	100.0	90.1	5.4	4.5	-

1) 従業上の地位「不詳」を含む。 2) 「役員」を含む。 3) 「家庭内職者」を含む。 4) 従業上の地位「不詳」を除いて算出している。



表2-2 従業上の地位、年齢（5歳階級）、男女別15歳以上就業者数（平成22年、27年）

(人)

男女、年齢	平成22年					平成27年				
	総数 1)	雇用者 2)	自営業主 3)	家族 従業者	不詳	総数 1)	雇用者 2)	自営業主 3)	家族 従業者	不詳
総数	1,143,389	910,736	113,009	36,436	83,208	1,120,195	878,776	95,888	25,586	119,945
15～19歳	15,513	13,939	137	116	1,321	14,131	13,429	118	61	523
20～24	76,755	67,989	682	542	7,542	67,189	57,327	593	297	8,972
25～29	115,144	100,267	2,074	1,245	11,558	102,726	84,422	1,842	626	15,836
30～34	121,063	103,908	4,959	2,006	10,190	111,206	89,644	3,942	1,166	16,454
35～39	139,596	117,592	8,856	3,153	9,995	117,904	95,166	6,409	1,813	14,516
40～44	126,687	105,315	10,134	3,122	8,116	140,627	114,711	9,283	2,504	14,129
45～49	115,245	95,772	10,336	3,049	6,088	127,754	104,256	9,869	2,370	11,259
50～54	99,028	81,021	10,340	3,012	4,655	114,267	93,580	9,795	2,366	8,526
55～59	103,657	81,689	12,796	4,077	5,095	94,235	76,212	9,243	2,304	6,476
60～64	107,454	77,912	17,654	5,779	6,109	84,910	65,223	10,725	2,984	5,978
65歳以上	123,247	65,332	35,041	10,335	12,539	145,246	84,806	34,069	9,095	17,276
男	634,752	495,542	85,147	7,183	46,880	610,410	463,964	70,928	4,937	70,581
15～19歳	7,485	6,717	70	80	618	6,843	6,471	67	46	259
20～24	36,373	31,874	400	331	3,768	31,509	26,587	322	169	4,431
25～29	59,871	51,256	1,373	717	6,525	52,354	42,272	1,169	344	8,569
30～34	67,899	57,302	3,706	891	6,000	60,415	47,539	2,726	496	9,654
35～39	80,634	66,666	6,843	1,174	5,951	65,049	50,996	4,731	586	8,736
40～44	71,007	57,310	7,907	926	4,864	77,398	60,857	7,095	742	8,704
45～49	63,145	50,916	7,954	639	3,636	69,426	54,139	7,623	575	7,089
50～54	54,882	43,827	7,868	460	2,727	61,950	48,788	7,394	370	5,398
55～59	59,446	46,121	9,907	416	3,002	52,621	41,240	6,952	271	4,158
60～64	62,736	45,302	13,523	472	3,439	49,107	36,827	8,228	289	3,763
65歳以上	71,274	38,251	25,596	1,077	6,350	83,738	48,248	24,621	1,049	9,820
女	508,637	415,194	27,862	29,253	36,328	509,785	414,812	24,960	20,649	49,364
15～19歳	8,028	7,222	67	36	703	7,288	6,958	51	15	264
20～24	40,382	36,115	282	211	3,774	35,680	30,740	271	128	4,541
25～29	55,273	49,011	701	528	5,033	50,372	42,150	673	282	7,267
30～34	53,164	46,606	1,253	1,115	4,190	50,791	42,105	1,216	670	6,800
35～39	58,962	50,926	2,013	1,979	4,044	52,855	44,170	1,678	1,227	5,780
40～44	55,680	48,005	2,227	2,196	3,252	63,229	53,854	2,188	1,762	5,425
45～49	52,100	44,856	2,382	2,410	2,452	58,328	50,117	2,246	1,795	4,170
50～54	44,146	37,194	2,472	2,552	1,928	52,317	44,792	2,401	1,996	3,128
55～59	44,211	35,568	2,889	3,661	2,093	41,614	34,972	2,291	2,033	2,318
60～64	44,718	32,610	4,131	5,307	2,670	35,803	28,396	2,497	2,695	2,215
65歳以上	51,973	27,081	9,445	9,258	6,189	61,508	36,558	9,448	8,046	7,456

1) 従業上の地位「不詳」を含む。 2) 「役員」を含む。 3) 「家庭内職者」を含む。

表 2-3 従業上の地位、年齢（5歳階級）、男女別15歳以上就業者数の構成比（平成22年、27年）

(%)

男女、年齢	平成 22 年 4)					平成 27 年 4)				
	総 数 1)	雇 用 者 2)	自営業主 3)	家 族 従 業 者	不 詳	総 数 1)	雇 用 者 2)	自営業主 3)	家 族 従 業 者	不 詳
総数	100.0	85.9	10.7	3.4	-	100.0	87.9	9.6	2.6	-
15～19歳	100.0	98.2	1.0	0.8	-	100.0	98.7	0.9	0.4	-
20～24	100.0	98.2	1.0	0.8	-	100.0	98.5	1.0	0.5	-
25～29	100.0	96.8	2.0	1.2	-	100.0	97.2	2.1	0.7	-
30～34	100.0	93.7	4.5	1.8	-	100.0	94.6	4.2	1.2	-
35～39	100.0	90.7	6.8	2.4	-	100.0	92.0	6.2	1.8	-
40～44	100.0	88.8	8.5	2.6	-	100.0	90.7	7.3	2.0	-
45～49	100.0	87.7	9.5	2.8	-	100.0	89.5	8.5	2.0	-
50～54	100.0	85.9	11.0	3.2	-	100.0	88.5	9.3	2.2	-
55～59	100.0	82.9	13.0	4.1	-	100.0	86.8	10.5	2.6	-
60～64	100.0	76.9	17.4	5.7	-	100.0	82.6	13.6	3.8	-
65歳以上	100.0	59.0	31.7	9.3	-	100.0	66.3	26.6	7.1	-
男	100.0	84.3	14.5	1.2	-	100.0	85.9	13.1	0.9	-
15～19歳	100.0	97.8	1.0	1.2	-	100.0	98.3	1.0	0.7	-
20～24	100.0	97.8	1.2	1.0	-	100.0	98.2	1.2	0.6	-
25～29	100.0	96.1	2.6	1.3	-	100.0	96.5	2.7	0.8	-
30～34	100.0	92.6	6.0	1.4	-	100.0	93.7	5.4	1.0	-
35～39	100.0	89.3	9.2	1.6	-	100.0	90.6	8.4	1.0	-
40～44	100.0	86.6	12.0	1.4	-	100.0	88.6	10.3	1.1	-
45～49	100.0	85.6	13.4	1.1	-	100.0	86.8	12.2	0.9	-
50～54	100.0	84.0	15.1	0.9	-	100.0	86.3	13.1	0.7	-
55～59	100.0	81.7	17.6	0.7	-	100.0	85.1	14.3	0.6	-
60～64	100.0	76.4	22.8	0.8	-	100.0	81.2	18.1	0.6	-
65歳以上	100.0	58.9	39.4	1.7	-	100.0	65.3	33.3	1.4	-
女	100.0	87.9	5.9	6.2	-	100.0	90.1	5.4	4.5	-
15～19歳	100.0	98.6	0.9	0.5	-	100.0	99.1	0.7	0.2	-
20～24	100.0	98.7	0.8	0.6	-	100.0	98.7	0.9	0.4	-
25～29	100.0	97.6	1.4	1.1	-	100.0	97.8	1.6	0.7	-
30～34	100.0	95.2	2.6	2.3	-	100.0	95.7	2.8	1.5	-
35～39	100.0	92.7	3.7	3.6	-	100.0	93.8	3.6	2.6	-
40～44	100.0	91.6	4.2	4.2	-	100.0	93.2	3.8	3.0	-
45～49	100.0	90.3	4.8	4.9	-	100.0	92.5	4.1	3.3	-
50～54	100.0	88.1	5.9	6.0	-	100.0	91.1	4.9	4.1	-
55～59	100.0	84.4	6.9	8.7	-	100.0	89.0	5.8	5.2	-
60～64	100.0	77.6	9.8	12.6	-	100.0	84.5	7.4	8.0	-
65歳以上	100.0	59.1	20.6	20.2	-	100.0	67.6	17.5	14.9	-

1) 従業上の地位「不詳」を含む。 2) 「役員」を含む。 3) 「家庭内職者」を含む。  
 4) 従業上の地位「不詳」を除いて算出している。

雇用者のうち、男性は「正規の職員・従業員」が8割弱、女性は「パート・アルバイト・その他」が5割弱

雇用者(役員を除く)(81万6293人)の内訳をみると、「正規の職員・従業員」が雇用者の62.5%、「労働者派遣事業所の派遣社員」が4.3%、「パート・アルバイト・その他」が33.1%を占めている。男女別に見ると、男性は「正規の職員・従業員」が雇用者(役員を除く)の78.1%と最も高く、女性は「正規の職員・従業員」が雇用者(役員を除く)の46.2%、「パート・アルバイト・その他」が48.1%とほぼ均衡している。

平成22年と比べると、女性の「正規の職員・従業員」が0.5ポイント上昇する一方、「労働者派遣事業所の派遣社員」が0.5ポイント低下した。

図2-2 従業上の地位、男女別15歳以上雇用者数構成比(27年)

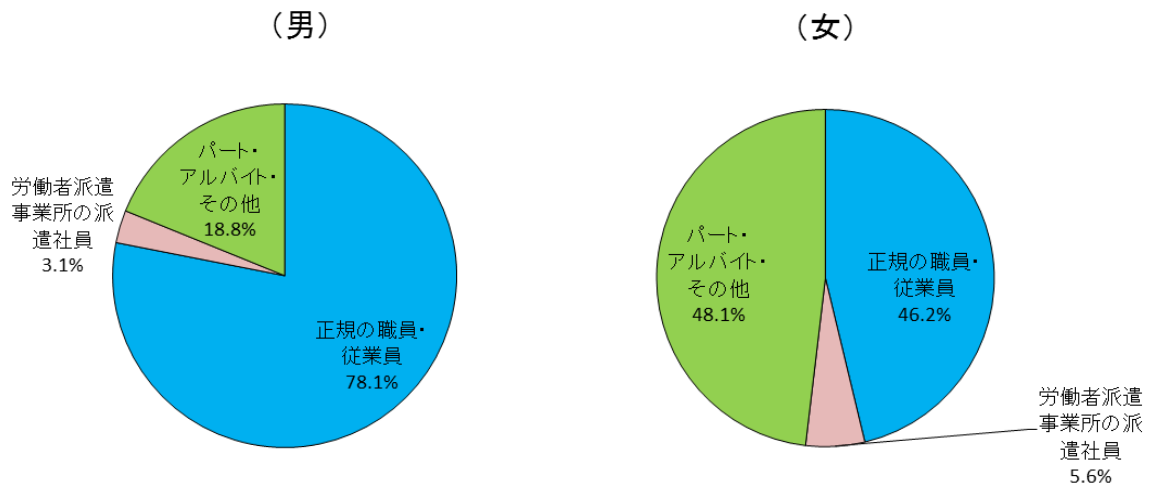


表2-4 従業上の地位、男女別15歳以上雇用者数・構成比(平成22年、平成27年)

男女	雇用者数(人)							
	平成22年				平成27年			
	雇用者	正規の職員・従業員	労働者派遣事業所の派遣社員	パート・アルバイト・その他	雇用者	正規の職員・従業員	労働者派遣事業所の派遣社員	パート・アルバイト・その他
総数	838,745	527,768	37,587	273,390	816,293	510,565	35,288	270,440
男	441,906	346,324	13,379	82,203	417,878	326,312	12,833	78,733
女	396,839	181,444	24,208	191,187	398,415	184,253	22,455	191,707
男女	構成比(%)							
	平成22年				平成27年			
	雇用者	正規の職員・従業員	労働者派遣事業所の派遣社員	パート・アルバイト・その他	雇用者	正規の職員・従業員	労働者派遣事業所の派遣社員	パート・アルバイト・その他
総数	100.0	62.9	4.5	32.6	100.0	62.5	4.3	33.1
男	100.0	78.4	3.0	18.6	100.0	78.1	3.1	18.8
女	100.0	45.7	6.1	48.2	100.0	46.2	5.6	48.1

### 3 産業・職業

#### 就業者数に占める第3次産業就業者の割合は一貫して上昇

平成27年における15歳以上就業者数(112万195人)を産業3部門別に見ると、第1次産業が0.1%、第2次産業が22.7%、第3次産業就業者が77.2%を占めている。

平成2年からの推移を見ると、第2次産業は製造業の就業者の減少により一貫して低下しており、平成2年(35.8%)から平成27年(22.7%)の25年間で10ポイント以上低下している。一方、第2次産業の低下を吸収するように第3次産業は一貫して上昇しており、平成2年(64.1%)から平成27年(77.2%)の間で10ポイント以上上昇している。

(注)平成17年以前では、「労働者派遣事業所の派遣社員」は、産業大分類「サービス業(他に分類されないもの)」下の産業小分類「労働者派遣業」に分類されていたが、平成22年以降は派遣先の産業に分類していることから、時系列比較には注意を要する。

図3-1 産業(3部門)別15歳以上就業者数の構成比の推移(平成2年~平成27年)

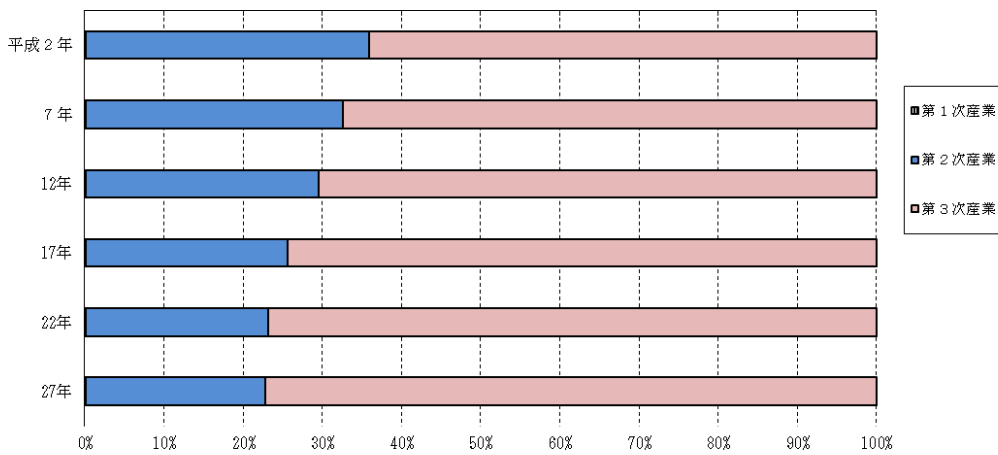


表3-1 産業(3部門)別15歳以上就業者数の推移(平成2年~平成27年)

年次	就業者数(人)					構成比(%) <sup>2)</sup>				
	総数 1)	第1次 産業	第2次 産業	第3次 産業	分類不能の 産業	総数 1)	第1次 産業	第2次 産業	第3次 産業	分類不能の 産業
平成2年	1,345,385	1,677	477,135	855,204	11,369	100.0	0.1	35.8	64.1	-
7	1,336,176	1,419	430,751	895,263	8,743	100.0	0.1	32.4	67.4	-
12	1,231,235	1,220	358,512	857,683	13,820	100.0	0.1	29.4	70.5	-
17	1,159,848	1,052	290,005	846,088	22,703	100.0	0.1	25.5	74.4	-
22	1,143,389	995	235,506	786,671	120,217	100.0	0.1	23.0	76.9	-
27	1,120,195	1,122	220,980	752,032	146,061	100.0	0.1	22.7	77.2	-

注 1) 「分類不能の産業」を含む。 2) 「分類不能の産業」を除いて算出している。

産業3部門の区分は次のとおり。

●平成12年まで

第1次産業・・・「農業」、「林業」、「漁業」

第2次産業・・・「鉱業」、「建設業」、「製造業」

第3次産業・・・「電気・ガス・熱供給・水道業」、「運輸・通信業」、「卸売・小売業、飲食店」、「金融・保険業」、「不動産業」、「サービス業」、「公務(他に分類されないもの)」

●平成17年

第1次産業・・・「農業」、「林業」、「漁業」

第2次産業・・・「鉱業」、「建設業」、「製造業」

第3次産業・・・「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「運輸業」、「卸売・小売業」、「金融・保険業」、「不動産業」、「飲食店、宿泊業」、「医療、福祉」、「教育、学習支援業」、「複合サービス事業」、「サービス業(他に分類されないもの)」、「公務(他に分類されないもの)」

●平成22年から

第1次産業・・・「農業、林業」、「漁業」

第2次産業・・・「鉱業、採石業、砂利採取業」、「建設業」、「製造業」

第3次産業・・・「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」、「金融業、保険業」、「不動産業、物品賃貸業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療、福祉」、「複合サービス事業」、「サービス業(他に分類されないもの)」、「公務(他に分類されるものを除く)」

## 就業者数に占める産業別の割合は「卸売業、小売業」が最も高い

平成27年の15歳以上就業者数（112万195人）を産業（大分類）別に見ると、「卸売業、小売業」が16.2%と最も高く、次いで「製造業」が14.0%、「医療、福祉」が10.7%、「サービス業（他に分類されないもの）」が6.7%、「宿泊業、飲食サービス業」が6.6%など、この5産業で54.2%と過半数を占めている。

図3-2 産業（大分類）別15歳以上就業者構成比（平成27年）

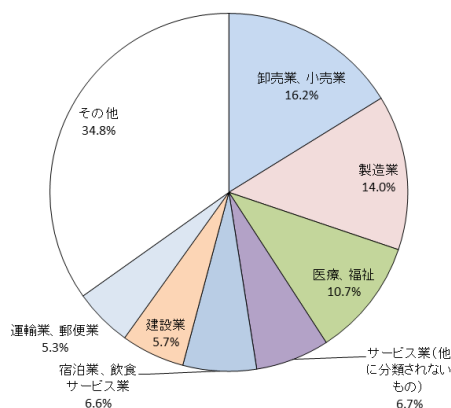


表3-2-(1) 産業（大分類）別15歳以上就業者数の推移（平成2年～平成12年）

産業（大分類）	平成2年	7年	12年
就業者数（人）			
総数 1)	1,345,385	1,336,176	1,231,235
A 農業	1,441	1,190	1,017
B 林業	128	129	103
C 漁業	108	100	100
D 鉱業	134	160	218
E 建設業	133,472	138,726	119,162
F 製造業	343,529	291,865	239,132
G 電気・ガス・熱供給・水道業	5,047	5,711	5,476
H 運輸・通信業	89,095	90,153	85,138
I 卸売・小売業、飲食店	404,614	392,120	369,800
J 金融・保険業	37,180	35,166	30,121
K 不動産業	28,441	28,243	27,130
L サービス業	274,019	326,022	322,819
M 公務（他に分類されないもの）	16,808	17,848	17,199
N 分類不能の産業	11,369	8,743	13,820
産業別構成比（%）			
総数 1)	100.0	100.0	100.0
A 農業	0.1	0.1	0.1
B 林業	0.0	0.0	0.0
C 漁業	0.0	0.0	0.0
D 鉱業	0.0	0.0	0.0
E 建設業	9.9	10.4	9.7
F 製造業	25.5	21.8	19.4
G 電気・ガス・熱供給・水道業	0.4	0.4	0.4
H 運輸・通信業	6.6	6.7	6.9
I 卸売・小売業、飲食店	30.1	29.3	30.0
J 金融・保険業	2.8	2.6	2.4
K 不動産業	2.1	2.1	2.2
L サービス業	20.4	24.4	26.2
M 公務（他に分類されないもの）	1.2	1.3	1.4
N 分類不能の産業	0.8	0.7	1.1

1) 「分類不能の産業」を含む。

表3-2-(2) 産業（大分類）別15歳以上就業者数（平成17年）

産業（大分類）	就業者数 (人)	構成比 (%)
総数 1)	1,159,848	100.0
A 農業	933	0.1
B 林業	54	0.0
C 漁業	65	0.0
D 鉱業	51	0.0
E 建設業	93,412	8.1
F 製造業	196,542	16.9
G 電気・ガス・熱供給・水道業	4,018	0.3
H 情報通信業	35,807	3.1
I 運輸業	66,478	5.7
J 卸売・小売業	245,096	21.1
K 金融・保険業	26,582	2.3
L 不動産業	30,798	2.7
M 飲食店、宿泊業	93,477	8.1
N 医療、福祉	96,003	8.3
O 教育、学習支援業	38,590	3.3
P 複合サービス事業	7,936	0.7
Q サービス業（他に分類されないもの）	183,855	15.9
R 公務（他に分類されないもの）	17,448	1.5
S 分類不能の産業	22,703	2.0

1) 「分類不能の産業」を含む。

※平成17年国勢調査で用いる産業分類は、平成14年3月に改定された日本標準産業分類を基準としているため、平成12年以前とは分類が異なる。

表3-2-(3) 産業（大分類）別15歳以上就業者数の推移（平成22年、27年）

産業（大分類）	平成22年	27年
就業者数（人）		
総数 1)	1,143,389	1,120,195
A 農業、林業	947	1,080
B 漁業	48	42
C 鉱業、採石業、砂利採取業	34	41
D 建設業	71,928	64,321
E 製造業	163,544	156,618
F 電気・ガス・熱供給・水道業	3,681	3,725
G 情報通信業	37,847	39,670
H 運輸業、郵便業	65,513	59,069
I 卸売業、小売業	210,611	181,213
J 金融業、保険業	27,086	25,655
K 不動産業、物品賃貸業	33,688	33,996
L 学術研究、専門・技術サービス業	40,145	40,543
M 宿泊業、飲食サービス業	85,347	74,292
N 生活関連サービス業、娯楽業	41,941	37,898
O 教育、学習支援業	37,831	39,094
P 医療、福祉	108,387	119,328
Q 複合サービス事業	2,832	3,881
R サービス業（他に分類されないもの）	73,735	74,589
S 公務（他に分類されるものを除く）	18,027	19,079
T 分類不能の産業	120,217	146,061
産業別構成比（%）		
総数 1)	100.0	100.0
A 農業、林業	0.1	0.1
B 漁業	0.0	0.0
C 鉱業、採石業、砂利採取業	0.0	0.0
D 建設業	6.3	5.7
E 製造業	14.3	14.0
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0.3	0.3
G 情報通信業	3.3	3.5
H 運輸業、郵便業	5.7	5.3
I 卸売業、小売業	18.4	16.2
J 金融業、保険業	2.4	2.3
K 不動産業、物品賃貸業	2.9	3.0
L 学術研究、専門・技術サービス業	3.5	3.6
M 宿泊業、飲食サービス業	7.5	6.6
N 生活関連サービス業、娯楽業	3.7	3.4
O 教育、学習支援業	3.3	3.5
P 医療、福祉	9.5	10.7
Q 複合サービス事業	0.2	0.3
R サービス業（他に分類されないもの）	6.4	6.7
S 公務（他に分類されるものを除く）	1.6	1.7
T 分類不能の産業	10.5	13.0

1) 「分類不能の産業」を含む。

※平成22年国勢調査で用いる産業分類は、平成21年3月に改定された日本標準産業分類を基準としているため、平成17年とは分類が異なる。

「15～19歳」の年齢階級では「宿泊業、飲食サービス業」の割合が最も高い

15歳以上就業者数に占める産業別の割合を年齢（5歳階級）別に見ると、「15～19歳」では「宿泊業、飲食サービス業」、「45～49歳」では「製造業」の割合が最も高くなっている。他の年齢階級では「卸売業、小売業」の割合が最も高くなっている。

平成22年からの構成比の変化を見ると「卸売業、小売業」は「15～19歳」を除く各年齢階級で2ポイント前後低下している。一方、「医療、福祉」は15～24歳の各年齢階級で低下しているがその他の各年齢階級では上昇しており、特に55～64歳の各年齢階級では3ポイント前後上昇している。

表3-3-1) 産業（大分類）、年齢（5歳階級）別15歳以上就業者数の構成比（平成27年）

産業（大分類）	総数	年齢（5歳階級）別15歳以上就業者数の構成比（平成27年）										
		15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
A 農業、林業	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
B 漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C 鉱業、採石業、砂利採取業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
D 建設業	5.7	3.7	3.7	3.9	4.3	5.5	7.0	7.1	6.3	6.4	6.9	5.6
E 製造業	14.0	7.5	8.9	11.6	12.6	13.8	15.5	16.2	15.8	15.1	14.1	14.2
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0.3	0.1	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.0
G 情報通信業	3.5	0.3	3.5	5.6	5.8	5.6	4.4	3.8	3.3	2.1	1.2	0.5
H 運輸業、郵便業	5.3	2.7	3.2	3.4	3.8	4.6	5.8	6.4	6.5	6.4	6.8	5.4
I 卸売業、小売業	16.2	24.0	18.1	16.1	15.2	15.3	15.6	15.7	16.2	16.8	16.4	16.4
J 金融業、保険業	2.3	0.1	2.2	2.9	2.6	2.1	2.3	3.0	3.1	2.6	1.7	0.8
K 不動産業、物品賃貸業	3.0	0.7	1.4	1.6	2.0	2.1	2.1	2.3	2.7	3.4	4.7	7.1
L 学術研究、専門・技術サービス業	3.6	0.5	2.2	3.7	4.2	4.6	4.2	3.8	3.6	3.5	3.3	2.7
M 宿泊業、飲食サービス業	6.6	33.7	12.5	5.5	5.2	5.7	5.6	5.2	5.2	5.7	7.2	7.7
N 生活関連サービス業、娯楽業	3.4	4.1	5.9	4.0	3.7	3.1	2.6	2.6	2.7	2.7	3.0	4.4
O 教育、学習支援業	3.5	3.1	4.8	4.7	4.1	3.5	3.0	3.0	3.8	4.6	3.3	1.7
P 医療、福祉	10.7	2.9	10.6	12.0	11.5	11.3	10.9	11.3	12.1	11.7	10.1	7.0
Q 複合サービス事業	0.3	0.0	0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.0
R サービス業（他に分類されないもの）	6.7	3.1	4.1	4.7	5.1	5.5	5.9	6.1	6.6	7.6	10.2	10.4
S 公務（他に分類されるものを除く）	1.7	0.3	1.3	2.2	2.3	2.0	1.9	1.8	2.2	2.1	1.3	0.3
T 分類不能の産業	13.0	13.1	17.1	17.4	16.8	14.4	12.2	10.8	9.1	8.4	8.9	15.4

表3-3-2) 産業（大分類）、年齢（5歳階級）別15歳以上就業者数の構成比（平成22年）

産業（大分類）	総数	年齢（5歳階級）別15歳以上就業者数の構成比（平成22年）										
		15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
A 農業、林業	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
B 漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
C 鉱業、採石業、砂利採取業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
D 建設業	6.3	3.5	3.7	4.3	5.9	7.6	7.7	6.8	6.7	7.4	7.2	5.0
E 製造業	14.3	7.7	9.1	11.1	13.3	15.1	15.9	15.6	15.1	15.6	15.7	15.6
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0.3	0.2	0.2	0.3	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.0
G 情報通信業	3.3	0.3	3.6	6.1	6.3	4.7	3.9	3.3	2.2	1.4	0.9	0.3
H 運輸業、郵便業	5.7	2.7	3.5	4.0	4.7	5.9	6.6	6.6	6.6	7.0	7.9	4.8
I 卸売業、小売業	18.4	22.4	20.1	18.3	17.6	17.8	17.5	18.2	18.9	18.7	18.0	19.4
J 金融業、保険業	2.4	0.1	2.4	3.0	2.3	2.4	3.0	3.3	3.1	2.3	1.4	0.8
K 不動産業、物品賃貸業	2.9	0.6	1.3	1.9	2.0	2.0	2.2	2.3	2.6	3.1	4.4	7.5
L 学術研究、専門・技術サービス業	3.5	0.5	1.9	3.9	4.6	4.4	4.1	3.9	3.7	3.3	2.7	2.4
M 宿泊業、飲食サービス業	7.5	33.2	13.3	6.4	6.0	6.0	5.8	5.7	6.3	7.5	8.8	7.7
N 生活関連サービス業、娯楽業	3.7	3.9	6.6	4.7	3.6	2.9	2.8	2.8	2.8	2.9	3.6	4.9
O 教育、学習支援業	3.3	2.6	4.3	4.2	3.5	3.0	2.9	3.7	4.7	3.9	2.3	1.5
P 医療、福祉	9.5	3.3	11.0	11.7	10.9	9.8	10.2	11.0	10.6	8.8	7.0	5.2
Q 複合サービス事業	0.2	0.0	0.2	0.2	0.2	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.0
R サービス業（他に分類されないもの）	6.4	2.6	3.5	4.7	5.4	5.6	5.7	5.9	6.4	8.1	10.0	9.3
S 公務（他に分類されるものを除く）	1.6	0.3	1.2	2.1	2.0	1.7	1.7	2.0	2.0	1.9	0.9	0.3
T 分類不能の産業	10.5	16.0	14.1	13.0	11.4	10.1	9.3	8.1	7.3	7.6	8.9	14.9

表3-3-3 (3) 産業（大分類）、年齢（5歳階級）別15歳以上就業者数の構成比の変化（平成22年～平成27年）

(ポイント)

産業（大分類）	総数	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65歳 以上
総数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
A 農業、林業	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.0	0.0	△ 0.0
B 漁業	△ 0.0	0.0	0.0	△ 0.0	0.0	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.0	0.0	0.0	△ 0.0	△ 0.0
C 鉱業、採石業、砂利採取業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.0	△ 0.0
D 建設業	△ 0.5	0.2	△ 0.0	△ 0.4	△ 1.6	△ 2.2	△ 0.7	0.3	△ 0.4	△ 1.1	△ 0.2	0.5
E 製造業	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.2	0.4	△ 0.7	△ 1.2	△ 0.4	0.6	0.6	△ 0.5	△ 1.6	△ 1.4
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	△ 0.1	0.1	0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.0	0.0	△ 0.0	0.1	0.1	0.0
G 情報通信業	0.2	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.6	△ 0.5	0.9	0.5	0.4	1.1	0.8	0.4	0.1
H 運輸業、郵便業	△ 0.5	0.0	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.8	△ 1.2	△ 0.8	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.7	△ 1.1	0.7
I 卸売業、小売業	△ 2.2	1.6	△ 2.0	△ 2.2	△ 2.3	△ 2.6	△ 1.9	△ 2.4	△ 2.7	△ 1.9	△ 1.6	△ 3.0
J 金融業、保険業	△ 0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.1	0.3	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.0	0.3	0.3	△ 0.0
K 不動産業、物品賃貸業	0.1	0.1	0.1	△ 0.3	0.1	0.0	△ 0.0	0.0	0.1	0.3	0.2	△ 0.4
L 学術研究、専門・技術サービス業	0.1	△ 0.0	0.3	△ 0.2	△ 0.3	0.2	0.2	△ 0.0	△ 0.1	0.3	0.6	0.3
M 宿泊業、飲食サービス業	△ 0.8	0.6	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.6	△ 1.1	△ 1.7	△ 1.6	0.0
N 生活関連サービス業、娯楽業	△ 0.3	0.2	△ 0.7	△ 0.7	0.1	0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.6	△ 0.5
O 教育、学習支援業	0.2	0.5	0.5	0.5	0.6	0.5	0.1	△ 0.7	△ 0.9	0.7	1.0	0.2
P 医療、福祉	1.2	△ 0.4	△ 0.4	0.3	0.6	1.6	0.7	0.2	1.5	2.9	3.1	1.8
Q 複合サービス事業	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	△ 0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	△ 0.0
R サービス業（他に分類されないもの）	0.2	0.4	0.6	△ 0.0	△ 0.2	△ 0.2	0.2	0.2	0.2	△ 0.5	0.2	1.1
S 公務（他に分類されるものを除く）	0.1	△ 0.0	0.1	0.0	0.3	0.3	0.2	△ 0.2	0.2	0.2	0.4	0.0
T 分類不能の産業	2.5	△ 3.0	3.0	4.4	5.4	4.3	2.9	2.7	1.8	0.8	0.0	0.5



就業者数に占める職業別の割合では、「事務従事者」が最も高い

15歳以上就業者数（112万195人）に占める職業（大分類）別の割合を見ると、「事務従事者」が19.5%と最も高く、次いで「専門的・技術的職業従事者」が14.9%、「販売従事者」が14.0%、「サービス職業従事者」が12.3%など、この4職業で全体の約6割を占めている。

男女別に見ると、男性は「販売従事者」が男性就業者（61万410人）の15.7%と最も高く、次いで「専門的・技術的職業従事者」が14.3%、「生産工程従事者」が13.6%などとなっている。女性は、「事務従事者」が女性就業者（50万9785人）の28.8%と最も高く、次いで「サービス職業従事者」が17.0%、「専門的・技術的職業従事者」が15.5%などとなっている。

平成22年からの構成比の変化を見ると、男女とも「販売従事者」、「サービス職業従事者」、「生産工程従事者」が低下した一方、「専門的・技術的職業従事者」は上昇した。

図3-4 職業（大分類）別、男女別15歳以上就業者の構成比（平成27年）

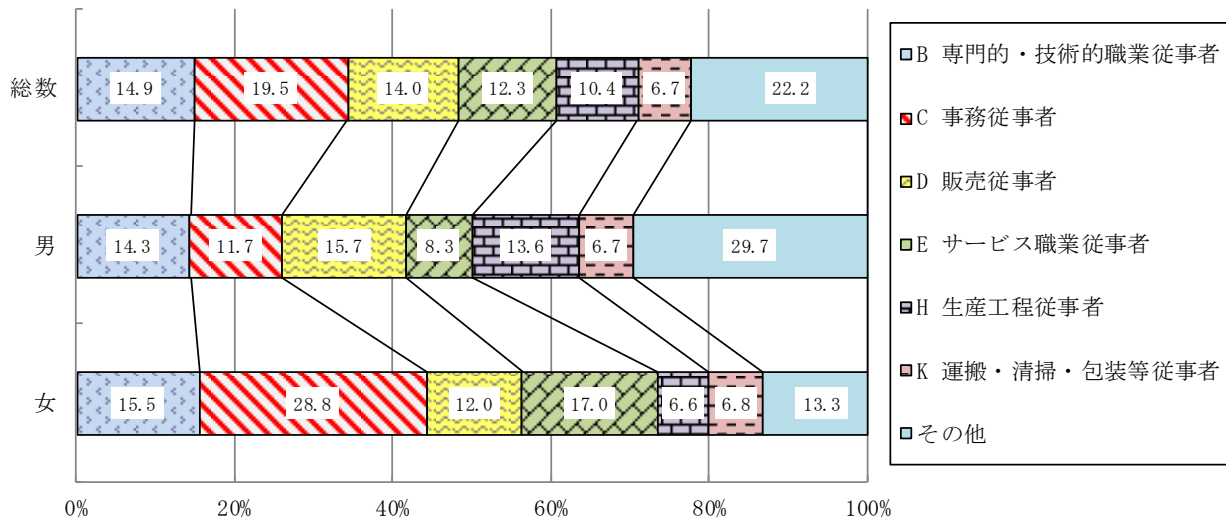


表3-4 職業（大分類）別、男女別15歳以上就業者数・構成比（平成22年、27年）

職業（大分類）	就業者数（人）					
	平成22年			平成27年		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	1,143,389	634,752	508,637	1,120,195	610,410	509,785
A 管理的職業従事者	29,648	24,401	5,247	28,796	22,997	5,799
B 専門的・技術的職業従事者	153,940	81,376	72,564	166,590	87,421	79,169
C 事務従事者	219,260	71,197	148,063	217,947	71,279	146,668
D 販売従事者	173,938	108,263	65,675	157,272	95,903	61,369
E サービス職業従事者	149,737	57,174	92,563	137,523	50,725	86,798
F 保安職業従事者	13,185	12,417	768	13,048	12,180	868
G 農林漁業従事者	1,096	873	223	1,171	909	262
H 生産工程従事者	134,311	97,684	36,627	116,347	82,825	33,522
I 輸送・機械運転従事者	34,907	34,113	794	31,156	30,246	910
J 建設・採掘従事者	41,896	41,208	688	36,277	35,522	755
K 運搬・清掃・包装等従事者	73,803	41,087	32,716	75,513	41,090	34,423
L 分類不能の職業	117,668	64,959	52,709	138,555	79,313	59,242

職業（大分類）	構成比（％）					
	平成22年			平成27年		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
A 管理的職業従事者	2.6	3.8	1.0	2.6	3.8	1.1
B 専門的・技術的職業従事者	13.5	12.8	14.3	14.9	14.3	15.5
C 事務従事者	19.2	11.2	29.1	19.5	11.7	28.8
D 販売従事者	15.2	17.1	12.9	14.0	15.7	12.0
E サービス職業従事者	13.1	9.0	18.2	12.3	8.3	17.0
F 保安職業従事者	1.2	2.0	0.2	1.2	2.0	0.2
G 農林漁業従事者	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1
H 生産工程従事者	11.7	15.4	7.2	10.4	13.6	6.6
I 輸送・機械運転従事者	3.1	5.4	0.2	2.8	5.0	0.2
J 建設・採掘従事者	3.7	6.5	0.1	3.2	5.8	0.1
K 運搬・清掃・包装等従事者	6.5	6.5	6.4	6.7	6.7	6.8
L 分類不能の職業	10.3	10.2	10.4	12.4	13.0	11.6

#### 4 夫婦の労働力状態

一般世帯に占める夫婦ともに就業者世帯の割合が上昇し、「夫が就業者」かつ「妻が非就業者」世帯の割合は低下

夫婦のいる一般世帯数（52万5055世帯）を夫婦の就業・非就業別（注）に見ると、夫婦ともに就業者の世帯が46.0%、夫婦ともに非就業者の世帯が20.7%となっている。

また、夫婦のいる「子供があり」の一般世帯数（29万5147世帯）を同じく夫婦の就業・非就業別に見ると、夫婦ともに就業者の世帯が夫婦のいる「子供があり」の一般世帯数の51.8%、夫婦ともに非就業者の世帯が11.1%となっている。

22年からの構成比の変化を見ると、夫婦ともに就業者の世帯の割合が2.7ポイント上昇した一方、「夫が就業者」かつ「妻が非就業者」の世帯の割合は4.3ポイント低下した。

（注）一つの世帯に複数の夫婦がいる場合、「夫婦の就業状態」は、最も若い夫婦に着目している。

表4-1-(1) 子供の有無、夫婦の就業・非就業別夫婦のいる一般世帯数（平成22年、27年）

（人）

		総数 1)	夫婦の就業・非就業別			夫婦の就業・非就業別			不詳
			夫が 就業者	妻が 就業者	妻が 非就業者	夫が 非就業者	妻が 就業者	妻が 非就業者	
平成 22 年	総数	530,361	368,748	205,932	158,371	112,637	19,847	91,638	54,573
	子供がなし	223,671	124,610	74,084	47,915	72,373	9,907	61,624	30,141
	子供があり	306,690	244,138	131,848	110,456	40,264	9,940	30,014	24,432
平成 27 年	総数	525,055	348,544	212,895	134,081	116,887	20,271	95,673	62,135
	子供がなし	229,908	124,612	77,460	46,046	78,655	11,217	66,589	28,596
	子供があり	295,147	223,932	135,435	88,035	38,232	9,054	29,084	33,539

1) 総数は夫婦の労働力状態「不詳」及び妻の労働力状態「不詳」を含む。

表4-1-(2) 子供の有無、夫婦の就業・非就業別夫婦のいる一般世帯数の構成比（平成22年、27年）

（%、ポイント）

		総数	夫婦の就業・非就業別			夫婦の就業・非就業別			不詳
			夫が 就業者	妻が 就業者	妻が 非就業者	夫が 非就業者	妻が 就業者	妻が 非就業者	
平成 22 年	総数	100.0	76.6	43.3	33.3	23.4	4.2	19.3	-
	子供がなし	100.0	63.0	38.3	24.8	37.0	5.1	31.8	-
	子供があり	100.0	85.8	46.7	39.1	14.2	3.5	10.6	-
平成 27 年	総数	100.0	75.0	46.0	29.0	25.0	4.4	20.7	-
	子供がなし	100.0	61.4	38.5	22.9	38.6	5.6	33.1	-
	子供があり	100.0	85.4	51.8	33.7	14.6	3.5	11.1	-
変 化	総数	0.0	△ 1.6	2.7	△ 4.3	1.6	0.2	1.4	-
	子供がなし	0.0	△ 1.7	0.2	△ 1.9	1.7	0.5	1.2	-
	子供があり	0.0	△ 0.4	5.1	△ 5.5	0.4	△ 0.1	0.5	-

1) 夫婦の労働力状態「不詳」及び妻の労働力状態「不詳」を除いて算出している。

(参考) 結果の公表について

総務省統計局における今後の結果公表に関する予定は、次のとおりです。

〈平成27年国勢調査結果の集計・公表計画〉

集計区分		集計内容	全国結果の公表 予定時期
速報集計	人口速報集計	男女別人口及び世帯数の早期提供	平成28年2月 公表済み
	抽出速報集計	全調査事項に係る主要な結果の早期提供	平成28年6月 公表済み
基本集計	人口等基本集計	人口、世帯、住居に関する結果及び外国人、高齢者世帯等に関する結果	平成28年10月 公表済み
	就業状態等基本集計	人口の労働力状態、夫婦、子供のいる世帯等の産業・職業大分類別構成に関する結果	平成29年4月 公表済み
	世帯構造等基本集計	母子・父子世帯、親子の同居等の世帯の状況に関する結果	平成29年9月*
抽出詳細集計		就業者の産業・職業小分類別構成等に関する詳細な結果	平成29年12月*
従業地・通学地 集計	従業地・通学地による人口・就業状態等集計	従業地・通学地による人口の基本的構成及び就業者の産業・職業大分類別構成に関する結果	平成29年6月
	従業地・通学地による抽出詳細集計	従業地による就業者の産業・職業中分類別構成に関する詳細な結果	平成29年12月
小地域集計		基本集計及び従業地・通学地集計に関する基本的な結果の町丁・字等の小地域の結果	該当する基本集計等の 公表後

\*集計の完了した都道府県から順次公表